

キーワードを入力 Q

ユーザーページ 購入履歴

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料
主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

トピックス一覧

ガーン、シクシク…。発達が気になる子とのコミュニケーションのコツはオノマトペ【専門家】

7/2(金) 9:55 配信 0

たまひよ ONLINE



子育て中のママやパパにはなじみのある“オノマトペ”。大人でも「ニコニコ」「イライラ」などと日常的に使っているのではないのでしょうか。このオノマトペは、言葉を話し始めるころの赤ちゃんだけでなく、言葉のやり取りが苦手な発達障害の子どもとコミュニケーションにも、便利なツールなのだそうです。言語聴覚士・社会福祉士の原哲也先生に話を聞きました。

tunaco/gettyimages

【画像】最新の脳科学でわかった、0カ月から10歳の子どもの能力の伸ばし方【専門家】

言葉で気持ちを表せない子にも オノマトペは便利なツール！

オノマトペを通じたコミュニケーションは、言葉への関心を持ち始めるきっかけとして定型発達の子どもにも有効ですが、発達が気になる子どもへの言葉がけの方法としても活用できるそうです。

発達障害には「自閉スペクトラム症 (ASD)」「注意欠如・多動症 (ADHD)」「学習障害 (LD)」などがあります。発達障害の子どもは、生まれつきの脳の特性によって「人とのかかわりが苦手」「落ち着きがなく衝動的に動く」「こだわりが強い」などの特徴があり、生活のしにくさを抱えています。その特徴の一つとして、言葉を理解して表現できないことや、自分や人の感情を理解しにくいために、人とのコミュニケーションが苦手という面があります。

「発達障害のある子、とくに自閉スペクトラム症の子どもは“感情と言葉を結びつける”ことが苦手なことが多くあります。たとえば、私たちが困りごとを表現するには、困っている状態と『困った』という言葉と結びつけることが必要ですが、発達障害の子は、思うようにいかなかったり、失敗したりした時の状態を『困った』ことと自覚できないのです。そのため、困りごとを言葉で伝えられず、人に助けを求めにくいことがあります」(原先生)

言葉で気持ちを表しにくい子どもと日常的にコミュニケーションを取るためには、視線や動作・伝え方などのコツがあるそうですが、中でも感情とことばを結びつけるために有効なのが“オノマトペ”なのだそうです。オノマトペとは、「ざあざあ」「わんわん」「ブーブー」など、身のまわりの音や声を表す擬音(声)語や、「ガーン」「きらきら」「ニコニコ」など、動きや様子を表す擬態語などの総称です。

「『あれはわんわん(犬)だね』『パクパク食べようね』など、声かけにオノマトペを使うことで、子どもにとっても意味をイメージしやすくなります。オノマトペを使うと、何

アクセスランキング (ライブ)

- 1 「18才と81才の違い」について書かれた貼紙に爆笑 元ネタは「笑点」の大喜利コーナー
まいどなニュース 7/29(木) 21:00
2 池袋の路上で堂々と「落書き」してる人が……実際の絵を見てツイッター民1.5万人が「いいね！」
いったいなぜ?
アーバン ライフ メトロ 7/30(金) 11:53
3 唐辛子を誤投入!?「小林がやらかした17倍辛い焼肉のタレ」が話題 →「美味しい」と完売、写真に込めた上司の思い
まいどなニュース 7/30(金) 6:56
4 日の丸入りの手編み金メダルケースが「超かわいい」 英国の“飛び込み王子”に称賛続々
Hint-Pot 7/30(金) 6:10
5 「東京五輪」中国や韓国ではどう報道されているか 盛り上がりの差に両国の「立場の違い」反映
まいどなニュース 7/30(金) 11:00

